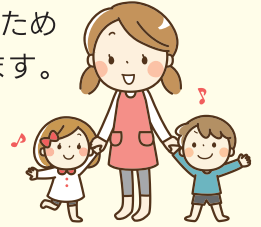


補正予算から

保育園の
これからを見据えて

豊田駅近くの民間保育園分園が閉園され、そこに新たな保育園が拡充開設されるための改修費用等の補正予算がありました。東京都の新たな預かり保育事業も始まります。今もなお待機児童はいる一方で、定員に空きのある保育園や撤退する園もあります。

目指すべきは、**公私幼保問わず子どもが安心して過ごす**ことができ、保護者が通わせることができる環境がまち全体にあることです。



財政の勉強会

知ることからはじめ、
一緒に考え提案していこう！

日野市の予算や決算の報告、よくわからない！なんで日野市はお金がないの？そんな市民の疑問に答えるべく、市の財政課職員を迎

えて勉強会を開催しました。

財政非常事態宣言を出した経緯、予算編成の流れなどの説明があり、理解を深める時間となりました。

財政は数字だけみても読み取れないことが多くあります。市議選政策に「**財政勉強会など、市民とともにお金の流れや活用を研究します**」と掲げています。これを一步とし、今後も皆さんと共に、研究や提案ができるよう取り組んでいきたいと思



おしゃべりカフェ報告

有機農業から学ぶのは
「共生」

毎議会後のおしゃべりカフェ。今回は恵泉女学園大学名誉教授の澤登早苗さんをお招きし、有機農業のお話を伺いました。

有機農業からしか学べないもの、それは「**共生**」「**循環**」「**生物多様性**」である——冒頭に澤登さんが言われたこの一言に全てが込められていると思いました。

有機農業に取り組むことは、まさに「共生」を肌で感じる入口になる、持続可能な社会形成に



欠かせない要素であり視点だと確信しました。取り組みを広めていけるよう、またいつか質問につながりたいと思います。

地方自治法改正される 試される自治の始まり



表面に書いたように、地方自治法が改正されました。国は、コロナ禍では想定外の事態がおき、いまある法律では対応できず混乱する場面もあったことから、と説明しています。しかし、国からの指示があれば解決したという事実は見当たらず、何が問題だったのかの検証もせず、国の指示がいつも正しいとも限りません。むしろ指示よりも権限こそ必要だという声もあります。一方的に従うのではなく**対等な立場での協議、連携**を、そして平素から地方分権、地方自治を進めていくために、これからも声をあげていきます。



生活者ネットワークの仲間とともに抗議集会に参加(右上端)